

平成22年度感染症危機管理研修会(於感染症研究所)

地域における  
新型インフルエンザ対応：  
北海道の場合

北海道保健福祉部健康安全局

医療参事

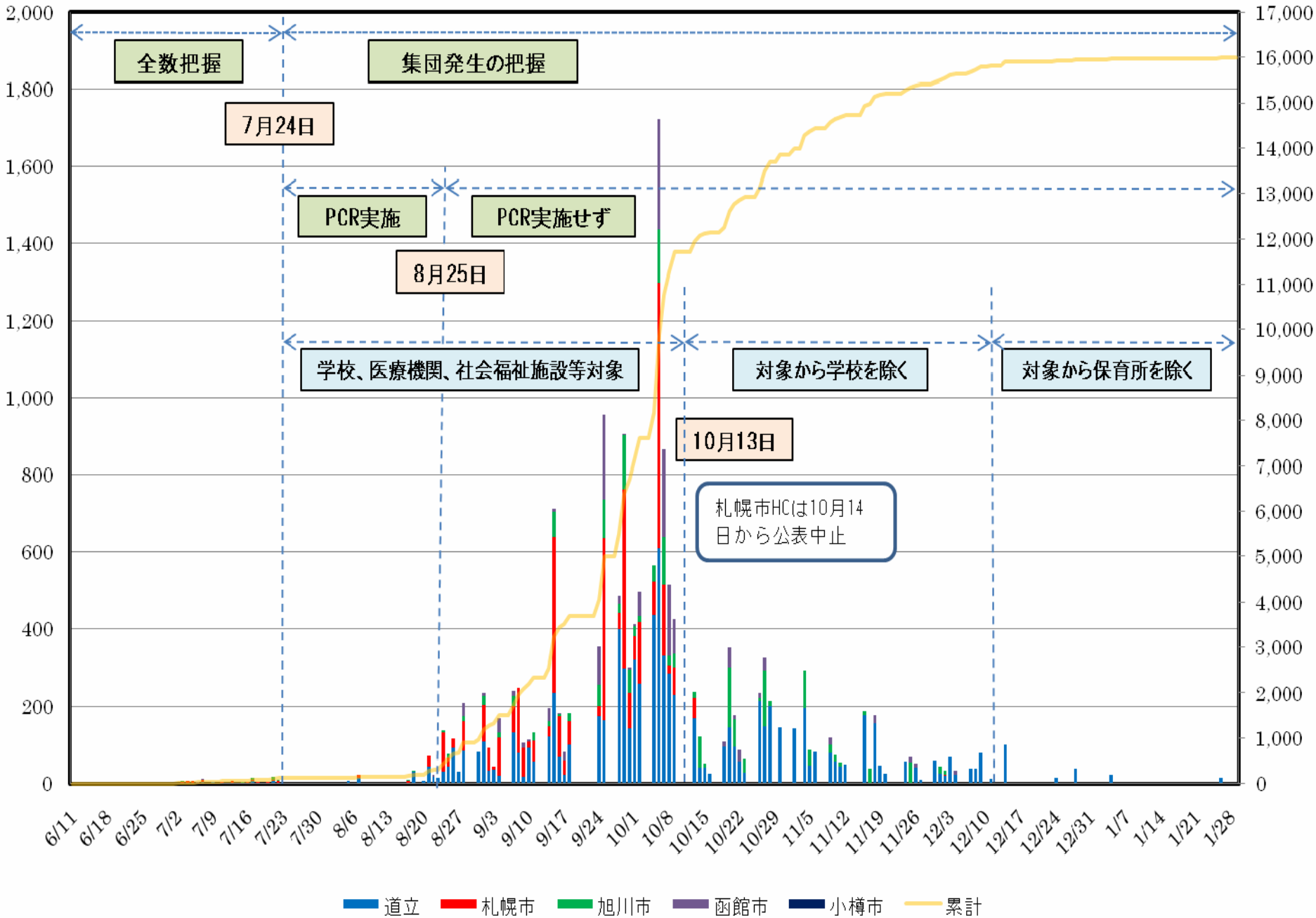
山口亮

棒グラフ：日々の発生人数(人)

# 道内の新型インフルエンザ(サーベイランスの推移)

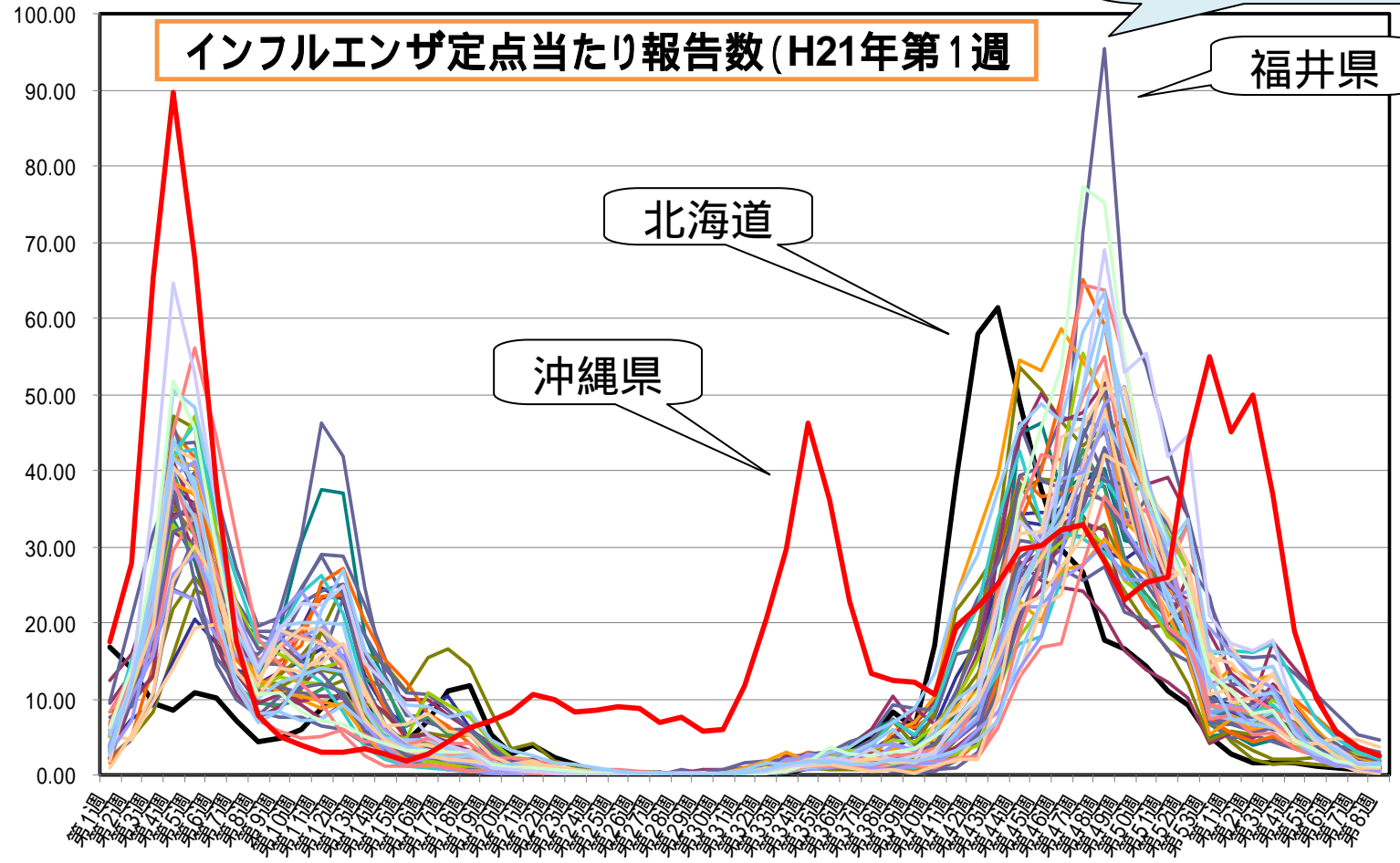
資料C-2

由線：発生人数累計(人)



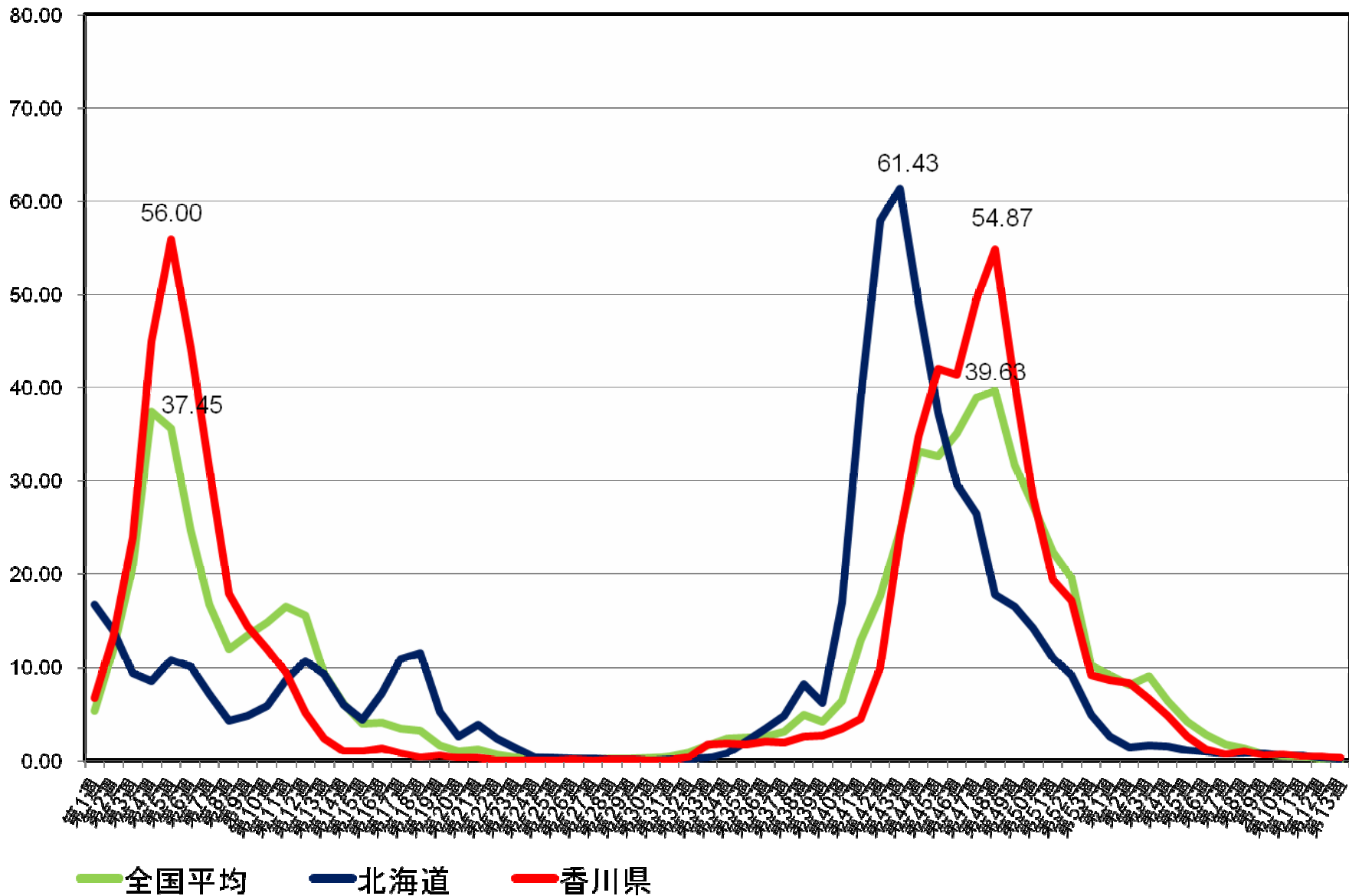
インフルエンザ定点当たり報告数 (H21年第1週)

48週 (11/23 ~ 29)  
95.44



- 全国平均
- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 山梨県
- 長野県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県

# インフルエンザ定点当たり報告数(H21年第1週以降)



# ピークの際のある診療所前の様子



10月13日（火）読売新聞夕刊（北海道版）  
10月12日午前、札幌市内のある診療所前の様子

平成21年10月10日(土)

10月11日(日)

10月12日(祝) 体育の日(第42週の初日)

- 夜間急病センターや休日当番医療機関（小児科）で行列ができた
- 電子カルテの医療機関では深夜にはバックアップに入ってしまった、診療を続けることが困難になった
- 診療時間待ちのため医療機関周囲で駐車車両が増えたり、夜間急病センターの周囲を取り囲むように縦列駐車が増えた

- 夜間及び休日の初期救急医療体制を強化した
- 重症化した小児患者を受け入れるため、土日祝日の小児科二次救急医療機関を1施設増やした
- 後方支援の病院（非公表）を確保し、医療機関での待ち時間短縮に役立てた
- 中学生以上は内科受診も考慮するようにアナウンスした
- 休日当番の内科医師には中学生の受診についても対応するように依頼した

# 推進体制の整備

## (1) 道本庁

- ・北海道新型インフルエンザ対策本部(知事、副知事、各部長等)
- ・北海道新型インフルエンザ対策本部幹事会(全庁各部等代表課長等)

## (2) 道立保健所

- ・支庁単位の支庁新型インフルエンザ対策地方本部(支庁長、副支庁長、各部長他)の開催(14支庁)
- ・新型インフルエンザ対策保健所管内医療専門家会議(医師会・主な医療機関)の設置(26保健所)
- ・新型インフルエンザ対策保健所管内市町村等連絡会(市町村、消防機関、警察署)の設置(同上)

## (3) 道と保健所設置市の連携

- ・新型インフルエンザ対策保健所設置市等連絡会の開催(道・保健所設置市・小樽検疫所)
- ・全道保健所長会議の開催(TV会議)、健康危機管理対策研修会の開催
- ・全市町村を対象とした新型インフルエンザ対策会議の開催(TV会議)



# 相談対応等

## (1) 相談体制

### 道本庁

- ・健康安全室に相談窓口を設置(H21.4.26)
  - 4/26 ~ 4/30(平日土日祝日9:00 ~ 21:00)
  - 5/1 ~ 7/17(平日土日祝日24時間)
  - 7/18 ~ 8/14(平日土日祝日9:00 ~ 21:00)
  - 8/15 ~ (平日通常勤務体制)

### 道立保健所

- ・全保健所に相談窓口(発熱相談センター)を設置(H21.4.26)
  - 4/26 ~ 6/12(土日祝日9:00 ~ 21:00)
  - 6/13 ~ (平日通常勤務体制)

# 相談対応等

道立保健所・健康安全室							4市分	合計
相談件数	症状等	医療体制	予防治療	渡航	豚肉等	その他	相談件数	相談件数
<b>8,656</b>	5,967	1,001	701	129	40	818	<b>9,490</b>	<b>18,146</b>

# 相談対応等

	北海道	4市分	合計
7/21 ~ 7/31	424	459	883
7/11 ~ 7/20	426	599	1,025
7/ 1 ~ 7/10	722	1,235	1,957
6/21 ~ 6/30	451	618	1,069
6/11 ~ 6/20	966	1,109	2,075
6/ 1 ~ 6/10	806	824	1,630
5/21 ~ 5/31	2,220	2,387	4,607
5/11 ~ 5/20	1,801	1,619	3,420
5/ 1 ~ 5/10	660	453	1,113
4/26 ~ 4/30	180	187	367

# 検疫所からの依頼による 健康観察の実施(4/27～6/19)

(1) 流行国(メキシコ、アメリカ本土、カナダ)からの入国者(4/27～5/22)

北海道	札幌市	旭川市	函館市	小樽市	合計
758	1,058	67	142	46	2,071

(2) 検疫で判明した患者の濃厚接触者(5/23～6/19)

北海道2名、札幌市4名、他3市各0名

# 感染予防のための普及啓発

- 正しい知識の普及

疾病の特徴や咳エチケット等の感染予防について、道・市町村のホームページ、広報誌、新聞、テレビ等の各種広報媒体を活用。国・道作成の周知チラシ、ポスターの配布。

- 自宅療養者や基礎疾患を有する方などへの情報提供
- インフルエンザ脳症の予防の徹底(市町村を通じての学校等へのチラシ配布)

# 医療体制等の確保

## (1) 医療機関

- ・発熱外来の設置(最終58箇所)
- ・原則全ての医療機関での外来診療の開始(道内8月10日から)  
国の運用指針の改定(6/19)による。
- ・入院病床の確保  
国の示す指標に基づく道内必要病床2,011床のところ  
1,818床(90.4%)確保。  
特に、妊婦・小児・透析患者の入院・搬送・受診対応  
について保健所が中心に調整。  
<市町村に対し、妊婦への全数周知、小児への学校等を通じた周知、透析患者への広報等による周知を依頼>
- ・休日夜間における医療の確保(夜間診療時間の延長、夜間救急の機能維持、当番医の増～道補助事業の拡大)

# 医療体制等の確保

## (2) 保健所

- ・患者等の積極的疫学調査の実施
  - ・集団発生の把握(クラスターサーベイランス)
- 入院患者の臨床状態の把握(入院サーベイランス)の実施

# 医療体制等の確保

## (3) 衛生研究所

道立衛生研究所の患者の確定検査(PCR検査)の実施  
256検体(H21.9月～H22.2月)中、PCR検査において、  
新型インフルエンザウイルス208検体、B型5検体を確認。  
Aソ連型・A香港型なし。

札幌市衛生研究所では、9/3、9/9に採取した2株がA香港型、  
1/21採取の1株がB型、この他は全部新型。

・ウイルスのタミフル耐性の調査

タミフル耐性マーカ－H275Yの検出:道内1件(H21.12.17、1月に国立感染症研究所  
で薬剤感受性試験を実施。タミフル耐性・リレンザ感受性を確認)

札幌市衛生研究所では3株を検出。(H21.9.25、H21.12.24、H22.3.12) 3.12現在で  
全国63例

札幌市を含め、患者は回復。また、全件、家族を含め周囲の感染拡大を認めず。



# 医療体制等の確保

## (4) 治療薬や感染防護具の確保

	H18	H19	H21	H22予定	H23予定
タミフル	23.4万人	23.4万人	18.8万人	18.8万人	18.8万人
リレンザ	-	-	1.9万人	1.9万人	1.9万人
合計	23.4万人	23.4万人	20.7万人	20.7万人	20.7万人
	46.8万人		67.5万人	108.9万人	

H18～H19: 国民の23%相当分を国と都道府県で備蓄。

(流通在庫 + 行政備蓄で2,935万人分)

H21～H23: 国民の45%相当分まで行政備蓄を積み増し。( " 5,733万人分)

- ・医療機関や保健所に対する感染防護具(フルPPE)約28,000セットを行政備蓄。
- ・医療機関に対する簡易陰圧装置や外来用の空気清浄機等の整備。

# サーベイランス体制

- ・患者全数把握、クラスター(集団発生)サーベイランス
- ・入院サーベイランス、病原体サーベイランス

# 新型インフルエンザワクチンの接種

(1) 新型インフルエンザワクチン接種受託医療機関の確保 (H21.11.30現在)

	全体箇所数	受託医療機関数	割合
病院	592	584	98.6%
診療所	2,926	2,391	81.7%
合計	3,518	2,975	84.6%

# 新型インフルエンザワクチンの接種

(2)受託医療機関からの新型インフルエンザワクチン接種報告数  
(H21.10月～H22.1月の4か月平均回収率84.2%)

区 分	接種開始時期	道内想定人数 (概数) A	1月末現在接種数累計			接種率(%) B/A
			1回目 B	2回目	合計	
医療従事者	10/23	140,000	135,692	470	136,162	96.9
基礎疾患(最優先+その他)	11/16、12/4	390,000	298,089	14,817	312,906	76.4
妊婦	11/16	42,000	14,899	91	14,990	35.5
1歳～小学3年生	12/4、12/17	360,000	80,260	63,943	144,203	22.3
1歳未満児等の保護者等	12/17	87,000	14,523	172	14,695	16.7
小学4～6年生	12/17	142,000	11,892	8,383	20,275	8.4
中学生	12/28	148,000	15,490	290	15,780	10.5
高校生(相当年齢)	12/28	146,000	10,683	18	10,701	7.3
65歳以上の方	1/19	916,000	63,769	21	63,790	7.0
1歳未満児	1/22	42,000	47	0	47	0.1
その他の方(健康成人)	1/22	3,134,000	15,931	16	15,947	0.5
合 計		5,547,000	661,275	88,221	749,496	11.9

# インフルエンザ推計受診患者数

年齢	推計数(概数)	比率
0～4	約 228 万人	11.1%
5～9	約 518 万人	25.2%
10～14	約 475 万人	23.1%
15～19	約 280 万人	13.6%
20～29	約 219 万人	10.7%
30～39	約 155 万人	7.5%

年齢	推計数(概数)	比率
40～49	約 103 万人	4.9%
50～59	約 49 万人	2.3%
60～69	約 17 万人	0.8%
70以上	約 15 万人	0.7%
合計	約 1,875 万人	99.9%

H21年第28週(7/6～7/12)～H22年第8週(2/22～2/28)の累計

国立感染症研究所「感染症発生動向調査週報 第8週号」による

全国で約2千万人 = 北海道では約100万人

# その他

## (1) 学校等の休業等の要請又は助言

< 道内のインフルエンザ様疾患施設別発生状況調査 >  
(第1報[H21.10.25]～第19報[H22.3.6])

	休校数		学年閉鎖校数		学級閉鎖校数	
保育所	97	(2)	4	(0)	9	(0)
幼稚園	120	(29)	20	(7)	67	(7)
小学校	264	(33)	690	(252)	807	(450)
中学校	85	(12)	242	(93)	415	(160)
その他	59	(5)	185	(13)	279	(22)
計	625	(81)	1,141	(365)	1,577	(639)

\* ( ) は前年同期 < 第19報の比較 >